

シマフクロウは魚食性のフクロウと言われています。事実、魚はよく食べています。でも魚は他のフクロウ類も食べています。ワシミズクを始め小型のコノハズクの仲間も食べています。

シマフクロウは森林性のフクロウでもなく草原性のフクロウでもありません。本来は水辺の河畔林を好むフクロウです。河畔林には多くの動物が棲んでいます。ネズミがいればネズミ、カニが見つければカニを、カエルがいればカエル、勿論魚がいれば魚を獲ります。また棲んでいる環境、季節的にも餌の変更があります。それは故意に行なっているのではなく、そうせざるを得ないからです。結氷した河川から水棲動物は獲れません。仕方なく？地上性の哺乳類や鳥類に目を向けるわけです。また冬期は産卵に向けて栄養もつけなければなりません。そうなればカロリーの高いものを食べる必要があります。

自然界はうまく出来ているものです。意識して餌種を選択しなくても高カロリーのものを食べるようになっています。

以前、シマフクロウが何を好むか実験したことがあります。それは冬期間にヤチネズミ、アオジ* ヤマメを並べて置いてみました。すると何回やってもネズミ



魚を啜る



モズクガニ



顔にはカモの羽毛がいっぱい

又は鳥を最初に食べ、最後はいつも魚でした。やはり身体も高カロリーを要求しているのでしょうね。

好みとは別ですが、幼鳥に餌を運ぶとき、幼鳥の飲み込めるサイズの中で、出来るだけ大きいものを運びます。これは

運ぶ回数を減らす為でしょう。親鳥も省エネ。

写真はカモ類を食べた後です。顔の周りにカモの羽毛がいっぱい着いています。最初見た時は、喧嘩でもしたのかと思いました。*アオジは交通事故死した冷凍ものです。



事務局便り

●今回は、設立 10 周年記念事業を中心に記事を掲載させていただきました。

9 月 20 日の 10 周年記念講演会・パネルディスカッションにつきましては、次号（来年 1 月末発行予定）にて、詳細を報告させていただく予定です。

●賛助会員ご入会・ご寄付を募集しています

当会の活動趣旨にご賛同いただける法人・個人の皆様の賛助会員ご入会とご寄付を募集しています。

当会のホームページからご入会手続・ご寄付申込手続ができますのでよろしくお願いいたします。

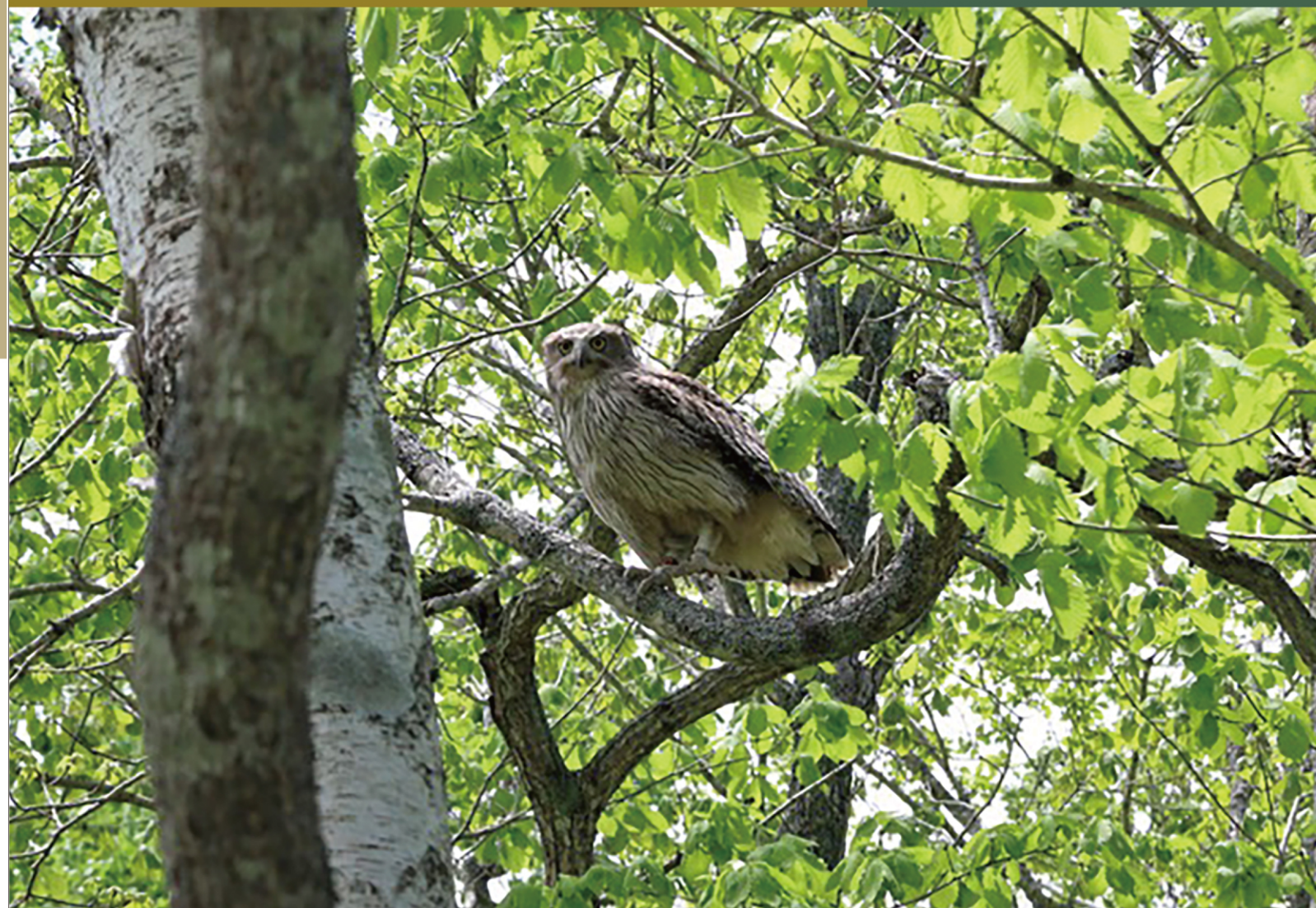
【認定 NPO 法人北海道シマフクロウの会 事務局】（担当：米谷・久保木）

〒060-8640 札幌市中央区大通西 3 丁目 11 番地 北洋ビル 6 階（※北海道二十世紀総合研究所 内） TEL 011-231-8681 FAX 011-231-8683

URL：https://hokkaido-shimafukurou.org/ E-mail：info@hokkaido-shimafukurou.org

北海道 シマフクロウ通信

特定非営利活動法人 北海道シマフクロウの会 機関誌



第35号

写真：山本純郎



令和5年度通常総会開催

認定 NPO 法人北海道シマフクロウの会 事務局

令和5年6月9日に認定 NPO 法人北海道シマフクロウの会の令和5年度通常総会が開催されました。本総会では、令和4年度事業報告・決算報告及び令和5年度事業計画・予算、業務委託費の増額等についてご審議いただき、いずれも異議なく可決されました。

議案内容の要旨は次のとおりです（当会のホームページにも掲載されています）。

令和4年度事業報告・決算報告

- 第1回理事会・通常総会の開催（令和4年6月16日）
 - 第2回理事会の開催（令和4年12月20日）
 - クラウドファンディングの実施（令和4年9月5日～10月25日）
 - 機関誌「北海道シマフクロウ通信」の発行（令和4年5月、9月、令和5年1月）
 - 第4回シマフクロウ保護活動支援金の贈呈（令和5年2月）
- 生息地でシマフクロウの保護活動に直接携わっておられる6名の方々、シマフクロウ生息地の環境保全や生息地の拡大・確保に尽力されている1団体、またシマフクロウの展示・飼育等を通じて保護活動の啓発に貢献している3つの動物園への支援金贈呈 総額 190 万円

令和4年度決算

- 経常収益：3,930 千円（正会員・賛助会員受取会費、寄付金、助成金など）
- 経常費用：4,408 千円
- 事業費：3,478 千円（保護活動支援金、機関誌発行費、クラウドファンディング費用など）
- 管理費：930 千円（事務局運営費、会計管理費、総会等会場費など）
- 期末正味財産：3,925 千円（次期繰越正味財産額）

令和5年度事業計画・予算

- 設立 10 周年記念事業の実施
- 記念講演会・パネルディスカッションの開催
- シマフクロウの生態や保護活動、生物多様性を学ぶ体験型環境教育イベントの開催
- (株)コンサドーレとの連携：札幌ドーム特設ブースでの広報・募金活動
- シンボルマークの制定
- 機関誌の発行（年3回発行予定、会員のほか各公共施設等へ配布）
- WEB サイトでの発信（ホームページ等での活動広報、情報発信）
- シマフクロウの保護等に携わる方々・団体等への支援金贈呈
- シマフクロウ保護に関する啓発を兼ねた支援金原資募集のためのクラウドファンディングの実施

事務局より

第5回クラウドファンディング実施のお知らせ

当会では、本年もシマフクロウの保護活動に取り組んでいらっしゃる皆様への支援を継続的・安定的に行い、保護活動に対する啓発を図るため、9月4日（月）から10月24日（火）の期間で、ACT NOW 様のご協力の下に、クラウドファンディング方式によるご寄付の募集を行っています。

つきましては、本趣旨にご賛同くださる皆様におかれましては、クラウドファンディングへのご寄付のご協力、また知人の方々へのPRにも是非お力添えを賜りますようお願い申し上げます。

なおインターネットを通じた応募となっていますので、手順や送金方法につきましては、8月28日付で皆様にお送りしましたご案内文書をご参照ください。

お寄せいただいたご支援は、今後、諸手続きを経て、支援金贈呈先、金額等を決定し、対応を進めてまいります。その内容につきまして、北海道シマフクロウ通信等を通じ、皆様にも改めてご報告させていただきます。

第5回クラウドファンディング実施要項

目標額 700,000 円
募集期間 令和5年9月4日（月）～10月24日（火）
募集運営 株式会社 ACT NOW

事務局より

設立 10 周年記念事業シンボルマークを制定しました！

弊会の設立 10 周年記念事業の一つとして、シンボルマークを制定しました。今後、ホームページ、各種封筒、クリアファイル、各種文書など、様々な活動時に使用し、当会のイメージを広くアピールします。

デザイン製作：中島 祥子氏
機関誌「北海道シマフクロウ通信」の誌面編集をお願いします



設立 10 周年記念事業 認定 NPO 法人カルチャーナイト北海道との連携企画

認定 NPO 法人北海道シマフクロウの会 事務局

設立 10 周年記念事業の一つとして、去る 7 月 15 日に、シマフクロウの生態や保護活動、生物多様性などを学ぶ体験型環境教育イベント【カルチャーナイト 2023 プレイベント「村の守り神『シマフクロウ』の秘密とは！？ 夕暮れの森で謎解きゲーム」】を、認定 NPO 法人カルチャーナイト北海道と共同開催しました。

日時● 令和5年7月15日（土）15:00～18:00

主催● 認定 NPO 法人カルチャーナイト北海道

共催● 認定 NPO 法人北海道シマフクロウの会

協力● 学校法人札幌大学、学校法人田中学園、公益財団法人日本野鳥の会

後援● 環境省北海道地方環境事務所、北海道

場所● 札幌大学、田中学園立命館慶祥小学校

プログラム

① 札幌大学キャンパス見学

札幌大学教授 本田優子氏の説明を聞きながら、シマフクロウの木彫やアイヌの伝統的住居「チセ」を見学

② 紙芝居とシマフクロウのお話

紙芝居：「シマフクロウのフムフム」
日本野鳥の会 チーフレンジャー 松本 潤慶氏ほか 3 名の皆様

お話：「シマフクロウを知っていますか？」

北海学園大学教授 早矢仕 有子氏

③ 田中学園立命館慶祥小学校の校舎内で「謎解きゲーム」

シマフクロウに関する 5 問のクイズを親子で解いて回答していくゲーム

④ 田中学園立命館慶祥小学校の校舎見学

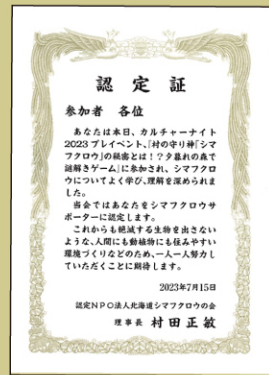
当日は札幌市内の小学生親子 44 名が参加し、シマフクロウの生態や魅力、また自然保護や生物多様性保全の大切



謎解きゲームの様子



謎解きゲーム優秀者の表彰



認定証



プレチラシ

さなどを楽しく遊びながら学んでいました。当会からは、村田理事長、荒川副理事長、事務局が参加し、謎解きゲームの回答優秀者 10 名に、“コンサドーレ Two side T シャツ”をプレゼントしました。また参加者全員に『シマフクロウサポーター認定証』を贈呈しました。

◆コンサドーレ Two side T シャツ

当会会員株式会社コンサドーレ様からご寄贈いただきました。あたたかいご支援・ご協力に心から感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

当日の様子を認定 NPO 法人カルチャーナイト北海道の You Tube チャンネルで公開しています。ぜひご視聴ください。

